

新老人会 あすなるクラブの発足経緯

1. 労住まきのハイツの高齢化の実態と自治会の取り組み

労住まきのハイツも高齢化が進み、70才以上の方が100名以上になっている。65才以上の方がおられる世帯は142世帯で全体の38%を占めており、今後益々この比率が高まっていくことは間違いないと思われる。

今年度自治会の活動方針として、この高齢化問題への対応を重点課題としてとりあげ、高齢者の交流、参加の促進を課題としてとりくんできた。

その1つとして、労住まきのハイツの老人会である「淀の水会」の定例会に自治会役員も参加し、連携を計ってきた。

3. 今回の体制の再編成までの経緯

本年度自治会活動開始時に「淀の水」役員との懇談会のなかで活動実態の報告を受けた。

参加者、役員が高齢化し(男性平均81.6才、女性77.7才)若い年代の新規加入がないため、役員後継者がなく、運営に大きな支障をきたしている。実際の活動も、月1回の食事を伴う例会のみに終わっている。自治会で今後の対応を企画実行して欲しいという要望をうけた。

10月に入り、再度「淀の水会」より自治会への対応依頼があった。

自治会として、老人会活動の活性化は重要事項と考え、体制の再編成案を提案し、「自治会役員会」、「淀の水会役員会」、関係団体となる労住内ボランティア組織「かけはし役員会」の基本的な了承を得、下記内容で新老人クラブの発足をする事になった。

体制の再編成

1. 会計は「淀の水」の会計を引き継ぐ。
2. 運営のため、企画運営委員会を結成する。委員会は、自治会役員 若干名、かけはし役員 若干名、有志若干名で構成する。
3. 委員会は「淀の水会」の活動だけでなく、かけはし、自治会の行うレクリエーション活動を労住全体のレクリエーション活動として見直し、必要に応じ、活性化のための支援を行う。また、高齢者参加の観点で労住のレクリエーション、親睦活動を見直し、必要により、新規レクリエーションなどを企画、実行していく。
4. 枚方市への老人会加入者の届け出は、届け出名簿への掲載承諾をいただいた参加者を届けることとする。届け出名簿への掲載によって、参加の強制や、世話役の依頼などの義務は生じないものとする。
5. 新組織、新名称を募集検討の結果 労住まきのあすなるクラブ という名称に決定された。
6. その他、運営の詳細は 新しく結成される企画運営委員会で検討していく。
7. 2009年2月28日に企画運営委員会を開催し4月1日発足スタートさせることになった。
8. 当面の運営は企画委員会が企画実行していくこととし、3月11日 企画委員会を開催。当面の活動内容を検討、決定した。
9. 枚方市に予算計画、活動計画、役員名簿を提出し補助金申請を行った。老人クラブ連合会には会員名簿(4月1日現在61名)を提出した。